	2017 年 8 月 16 日
├─├── 一般社団法人	
│ └─├── 日本美容歯科医療協会	
└┼┐ メルマガ	
	httn://icd_in/

残暑お見舞い申し上げます。お盆休みもほとんどのところが終わり、平常診療になっておられることと思います。

今回は、再掲になりますが、エビデンスにもとづく顎運動・咬合力制御法と、幹細胞サイトカインを用いた歯周組織再生誘導に関する8月27日セミナーの目次のご案内をいたします。

* 幹細胞サイトカインを用いた歯周組織再生誘導に関する内容をコンパクトにまとめた無料説明会を開催いたしております。下記のリンクをご参照くださいませ。

https://jpgh09.wixsite.com/oralstemgelpowder

*8月27日のセミナーお申し込みは下記から受け付けています。

http://dhlife.net/dcv-muk/

【顎運動制御 (咬合力の適正化) と幹細胞サイトカインを用いた歯周組織の再生誘導ーエビデンスから臨床応用までー】

DCV and MUKclub collaboration 2nd Convention

(主催:東京歯科大&日大松戸歯学部 合同勉強会)

メインテーマ:これからの審美歯科~エビデンスに基づいた治療戦略~

(清水担当分)

演題:顎運動制御と口腔組織再生誘導法の新たな選択肢を求めて。

【セミナー目次】

- 1. よいドクターって何? 患者さんから求められる歯科医師とは?
- 2. 審美の根底となるサイエンス アンチエイジングを人類学的にサイエンスします!
- 3. 歯科を取り巻く現状 厚労省等のデータを用いて赤裸々に解説!
- 4. ボツリヌス製剤と顎運動制御
- 5. 成長因子による組織再生誘導

6. これからの歯科医療

(抄録)

メインテーマに沿って、私からはまず審美歯科を提供するにあたって、その基盤となる顎運動 制御と口腔組織再生誘導の必要性とエビデンスをお伝えしようと思います。

その一つ目の理由として、いくら審美歯科治療をご提供しても、咬合力が適正にコントロール されていない場合、せっかく入れた補綴物の破折のみならず、外傷性咬合といった、歯周疾患へ のトリガーとなる可能性が否定できないからです。

二つ目の理由として、歯周病等により歯周組織が破壊されてしまうと、せっかくの審美歯科治療の効果や価値が激減してしまうという事が考えられるからです。

前置きとして、よいドクターって何? 患者さんから求められる歯科医師とは?について簡単に説明した後、審美の根底となるサイエンスとして、アンチエイジングを人類学的にサイエンスした論文に基づいてご紹介します。

前置きの最後としては、歯科を取り巻く現状について、厚労省等のデータを用いて赤裸々に解 説させていただきます。

さて本題ですが、はじめに、ボツリヌス製剤を用いた咬合力の適正化コントロールのエビデンスとして、日本大

学松戸歯学部のデータをご紹介するとともに、そのグローバルスタンダードな歴史についても触れてみたいと思います。

次に、幹細胞サイトカインを用いた歯周組織再生誘導のエビデンスとして、名古屋大学医学系研究科のデータをご紹介するとともに、再生誘導の基材として用いるヒアルロン酸製剤の消炎効果に対するエビデンスとして、弘前大学医学部口腔外科のデータを、また、歯周組織再生に対するエビデンスとして大阪歯科大学のデータをご紹介するなど、すべてメインテーマにあるように「エビデンスに基づいた治療戦略」を具現化し、先生方の治療の選択肢を増やすための手段をご提供したいと思います。

エピローグに変えて、これからの歯科治療として、口腔乾燥症や顎関節症など、日常の歯科診療で接する機会は多いものの、現行の保険診療の範疇では解決の糸口がつかみにくい、統合医療的なアプローチが必要な疾患に対する、咀嚼筋・唾液腺マッサージの効果に関しても、朝日大学

歯学部等のデータを紹介しながら解説いたします。

また、口腔治療を無視した糖尿病治療があり得ないことと同じで、近年、口腔治療を無視した ヘアーロス治療も重要視されている報告が上がってきています。無論、抗がん剤によって脱毛し てしまった症例への対応も含みます。このあたりの歯科での対応についても職域拡大との関連で お話しいたします。

最後に、身近な審美歯科治療の代名詞でもあるホワイトニングについても、エビデンスに基づいた施術のおさらいと、増患戦略に関しましてもお話しできればと思います。

歯科医学は、それぞれの各論が密接に結び付いた総合科学であると思います。先生方にとりま して、あたらしい扉を開けるきっかけになりましたら幸いです。

これもまた再掲になりますが、しばらくこのメルマガや FB のグループページでご紹介してまいりました

「オーラルステムジェル原末」の特徴としては下記になります。

- ①原末の状態でお届けするものであり、院内製剤として先生に最終的な調合(溶媒を入れて混ぜるだけ)していただく。
- *溶媒は、別途薬剤問屋から関節用ヒアルロン酸(例:ヒアロス、通常の薬剤問屋で入手可能です。入手困難な場合は、共立薬品 03-3961-0145 にて通販していただけます。)もしくは、手作り基礎化粧品のヒアルロン酸原液(添加物としてフェノキシエタノールのみのもの:アマゾン等で購入可能、弊協会でも販売しています。)をご購入下さい。
- *ヒアロスは1本600円程度10本入りですが、1本から10回分以上製剤できますので、1回あたりの部分原価は60円程度になります。
- ②原末なのでコストが安い(ポカリのペットボトル製品と、粉を買って水を混ぜる場合とでのコスト計算の比較が例えとしてはわかりやすいかと思います)。
- ③先生の方で原価を調製できる(まとめて作って分注しますので、原価を 500 円から 1000 円の 範囲で調整できます)。

④ヒト幹細胞の培養上清サイトカインを使用しているため、多種多様な成長因子が複合的に含まれている。

価格は、1 バイアルあたり 10,800 円で、1 バイアルから 10 回~20 回分調製できます。作り方の参考例は、ご購入の際に同封させていただきます。バイアルのままでしたら、常温でも冷蔵・冷凍でも 1 年以上保存できます。調製後は冷蔵保存して 1~2週間程度で使ってください。日常診療に応用していただけますので、十分使い切れる量です。

使用方法は

- ①歯周ポケットへの挿入 (ペリオクリンの要領:合計で 0.1~0.2ml 程度)
- ②抜歯窩にスポンゼル等にドレッシングして挿入(1回 0.1ml 程度)
- ③人工骨と混和して GBR 等に使用 (1 回 0.1~0.2ml 程度) など、多彩な使用方法があります。

化学合成品ではないため、オーダーメードとなりますので、お届けに1週間程度いただいております。

なお、今まで使われた先生のご感想では、かなり良い手ごたえを感じていらっしゃいます。

ぜひこの機会にお試しご購入をご検討され、ローコストで実現できる歯周組織再生誘導療法を 先生の治療の選択肢に加えていただければと思います。

https://jpgh09.wixsite.com/oralstemgelpowder

↑こちらからのご購入であれば、1本からお気軽にご購入可能です。

ヒアルロン酸の組織再生への応用をベーシックから学べるセミナーをご用意 いたしております。下記をご参照くださいませ。

http://aimmember.com/shopdetail/004005000003/

弊協会では、再生誘導療法をもっともっと身近な手の届く医療にしたいと考えています。それによって、患者様への利益になるだけではなく、先生のクリニックの差別化につながりますし、メインテナンスの自費化のコンテンツの1つとしても使えるものになろうかと思います

どうぞよろしくお願い申し上げます。

* なお、このヒト幹細胞由来成長因子サイトカイン原末は、大阪の培養クリニックで調製されていますが、ここの原末は、歯科では弊協会のみでお取り扱いいたしております。

メルマガのバックナンバーは下記のサイトからダウンロードできます。

http://jcd.jp/from%20oraltougou/merumagaback.html

└───── 夏バテ・休みバテにお気をつけてお過ごしくださいませ。

- ○●○●■□■□140-0001
- ●○●○■□■□東京都品川区北品川 1-9-7-1015
- ○●○●■□■□一般社団法人日本美容歯科医療協会
- ●○●○■□■□03-5843-3615